

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007

ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

FAX03-3261-5453

2016年6月15日（水）

第634号 本号2頁

沖縄

「元海兵隊員による残虐な蛮行を糾弾！被害者を追悼し、

沖縄から海兵隊の撤退を求める県民大会」19日開催

女性死体遺棄事件に抗議する県民大会が6月19日午後2時から奥武山陸上競技場で開催されます。現地で、また全国各地から参加の取り組みが進められています。

これは、辺野古への新基地建設に反対するオール沖縄会議が6日、幹事会を開き決定したもので、大会は6月19日午後2時からおよそ1時間、那覇市の奥武山陸上競技場をメイン会場に開催されます。大会の名称は「元海兵隊員による残虐な蛮行を糾弾！被害者を追悼し、沖縄から海兵隊の撤退を求める県民大会」とし、大会の趣旨に賛同する全ての団体や個人に参加を呼びかけています。

大会は、一部二部に分け、被害者を追悼し海兵隊の撤去など再発防止に向けて県民の意思を示すとしています。

読谷村

「6・19県民大会」バスの運行についてホームページに掲載

早速、沖縄県内各地で自治体ぐるみの準備が始まっています。読谷村ではホームページで、次のような案内をしています。

「元海兵隊員による残虐な蛮行を糾弾！被害者を追悼し、沖縄から海兵隊の撤退を求める県民大会」の成功に向け、読谷村は、6月9日に「6・19読谷村実行委員会」を立ち上げました。つきましては、以下のとおり、バスの運行を行いますのでお知らせします。

実行委員会名称 6・19県民大会読谷村実行委員会

と、バスの運行計画をお知らせしています。村ぐるみのとりくみとなっています。

6・19 沖縄県民大会に呼応し怒りの国会包囲へ！

6月19日の沖縄の県民大会に呼応する6・19国会包囲行動が、総がかり行動実行委員会と「止めよう！辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会の共催で取組まれます。

また、全国各地でも連帯したとりくみが開催されます。

総がかり行動実行委員会は、多くの皆さんの参加を呼びかけています。

○会場＝国会正門前（並木通り、北庭、南庭）

○時刻＝14：00～15：30

○主なプログラム＝

- ・開会時に犠牲となった女性への哀悼を表す「沈黙の時間」
- ・開会あいさつ（「止めよう！辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会）



- ・オール沖縄代表あいさつ
- ・民進、共産、社民、生活の4党国会議員からあいさつ
- ・関東在住沖縄県出身者の発言
- ・「沖縄を返せ」合唱
- ・落合恵子さんのスピーチ
- ・戦争をさせない1000人委員会の代表の発言
- ・戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センターの代表の発言
- ・行動提起（解釈で憲法9条壊すな！実行委員会）

名古屋で連帯行動 新基地反対 沖縄と連帯コンサート

「平和とジュゴンを守ろう」と名古屋中区栄で、4日、「辺野古新基地建設反対コンサート in 名古屋」が開かれ、のべ200人を超える市民が参加しました。昨年から5回目のとりくみで、辺野古基地反対運動に取り組む人や、沖縄出身のミュージシャンらが「音楽を通じて支援を」と実行委員会をつくり実施しています。今回は、ひらき座や第8旅団など15グループ・個人が出演しました。

出演した「ひとみ&しずお」の北村ひとみさんは、新基地建設和解以降の辺野古の様子を報告。「現地はまだ緊迫している。安倍首相はアメリカと一緒にあって建設をすすめ、計画がなくなったわけではない。首相が変わらなければ、計画はなくなるだろう」と話しました。

通りがかった若者らが陽気な音楽に誘われて、リズムに合わせて手拍子をする場面もありました。コンサート後には「ゆんたく(しゃべりの場)」が行われ、沖縄の基地問題など語り合われました。

戦争法廃止！安倍政治許すな！各地のとりくみから

広島 「戦争する法律は反対」と署名

女性9条の会・ひろしまは、9日、広島市中区で、12人が参加して「戦争はいやです！選挙に行って政治を変えよう」と書いたビラを配り、戦争法廃止の2000万署名を集めました。

会員が「安倍政権を許すのか。それとも戦争法を廃止するのが、参院選の大争点です」とリレートーク。原爆で女学校の多くの同級生が亡くなったという市内安佐北区の86歳の女性は、「戦争はする法律は絶対に反対です」と言って署名しました。

徳島 毎月続けている戦争法反対のスタンディング宣伝

9条の会徳島は、9日、徳島市で戦争法反対のスタンディング宣伝を行いました。参加した13人が徳島駅前の国道交差点の4ヵ所に立ち、「憲法を守ろう」「許さない！集団的自衛権行使容認」と書いたプラカードを掲げると、信号待ちの市民らがじっと見つめていました。

この宣伝は、閣議決定後の2014年9月から毎月続けています。